



2020年9月29日

各 位

会 社 名 三 菱 マ テ リ ア ル 株 式 会 社
 代 表 者 名 執 行 役 社 長 小 野 直 樹
 (コ ー ド 番 号 5 7 1 1 東 証 第 1 部)
 問 合 せ 先 コ ー ポ レ ー ト コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 部 長
 大 村 勇 次
 (電 話 番 号 0 3 - 5 2 5 2 - 5 2 0 6)

株式会社ダイヤモンドの株式の譲渡に関する基本合意書の締結及び特別損失の計上について

当社は、本日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社ダイヤモンド（以下「ダイヤモンド社」）の株式について、2020年12月を目途にエンデバー・ユナイテッド株式会社（以下「エンデバー社」）を無限責任組合員とするエンデバー・ユナイテッド2号投資事業有限責任組合に譲渡すること（以下「本件譲渡」）に向けた具体的な協議・検討を開始することを決議し、本日、同社との間で基本合意書を締結いたしましたので、お知らせいたします。また、2021年3月期第2四半期において、事業再編損失引当金繰入額として特別損失を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

今後、当社はエンデバー社との間で具体的な協議・検討を進め、2020年11月を目途に、本件譲渡に関する最終契約書を締結する予定です。なお、今後新たに開示すべき事項を決定した場合には、別途お知らせいたします。

記

1. 経緯・理由

当社は、ダイヤモンド社及びその子会社等が営む当社グループの焼結部品事業（以下「焼結部品事業」）の業績悪化に伴い、焼結部品事業の中心であるダイヤモンド社の増資引受、直接貸付等の資金支援を行ってまいりました。しかしながら、こうした支援のみでは焼結部品事業の収益改善の見通しが立たないことから、第三者への譲渡も含め、焼結部品事業のあり方について継続的に検討してまいりました。こうした中、エンデバー社との間で、同事業を同社に譲渡し、同社主導の下で同事業の再建を目指すという方向性で合意に達し、具体的な協議・検討を行うこととなったものです。エンデバー社は、豊富な事業再生実績を有する国内投資ファンドであり、焼結部品事業の安定継続のためには、同社主導による再建が最良であると当社は判断しております。

2. 本件譲渡の対象

当社が保有するダイヤモンド社の全株式を譲渡いたします。なお、これに伴い、ダイヤモンド社の子会社であり、当社の連結子会社でもある株式会社ピーエムテクノ、Diamet Klang (Malaysia) Sdn. Bhd. 及び広東達宜明粉末冶金有限公司も当社の連結範囲から外れることとなります。

ダイヤモンド社の概要

(1) 名 称	株式会社ダイヤモンド
(2) 所 在 地	新潟県新潟市東区小金町三丁目1番1号
(3) 代表者の役職・氏名	取締役社長 鶴巻 二三男
(4) 事 業 内 容	焼結機械部品、含油軸受その他の粉末冶金製品の製造、研究開発及び販売
(5) 資 本 金	4,750百万円
(6) 設 立 年 月 日	2005年12月1日
(7) 大株主及び持株比率	当社：100%

3. 譲渡先の概要

(1) 名 称	エンデバー・ユナイテッド2号投資事業有限責任組合	
(2) 所 在 地	東京都千代田区丸の内二丁目5番地1 丸の内二丁目ビル6階	
(3) 設 立 根 拠 等	投資事業有限責任組合契約に関する法律に基づく有限責任組合	
(4) 組 成 日	2018年9月13日	
(5) 出 資 の 総 額	351億円（組合員の出資約束金額の総額）	
(6) 無 限 責 任 組 員 の 概 要	名 称	エンデバー・ユナイテッド株式会社
	所 在 地	東京都千代田区丸の内二丁目5番地1 丸の内二丁目ビル6階
	代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 三村智彦
	事 業 内 容	投資ファンドの運営
	資 本 金	80百万円

※譲渡先と当社との間に、資本関係、人的関係、取引関係及び関連当事者への該当はありません。

4. 本件譲渡の日程

2020年 9月29日（本日）	基本合意書締結
2020年 11月（予定）	最終契約書締結
2020年 12月（予定）	クロージング

5. 当社業績への影響

本件譲渡に関し、当社は、2021年3月期第2四半期におきまして、事業再編損失引当金繰入額として約210億円の特別損失を計上する見込みです。本件譲渡が業績に与える影響につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」における通期連結業績予想に織り込み済みです。

以 上